

ITECセミナー 開催のお知らせ

働き方改革を牽引するテレワーク

— 個人・企業・社会の持続的な成長発展に向けて

日時 2017年3月14日（火）15:00～16:30

場所 同志社大学 東京サテライトキャンパス

〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目7番19号 京橋イーストビル3階

<http://tokyo-office.doshisha.ac.jp/access/map.html>講師 小豆川 裕子氏
株式会社 NTT データ経営研究所
上席研究員

小豆川 裕子 氏のプロフィール：

金融、ITサービスのシンクタンク等を経て現職。1990年代後半よりICTの普及と個人・組織・社会の相関、ワークスタイル&ワークプレイス分野の実証（特にテレワーク）および政策研究等に従事。博士（学術、東京大学）、修士（経営学、筑波大学）、日本テレワーク学会副会長、テレワーク月間実行委員会副委員長、一般社団法人日本テレワーク協会アドバイザー、国土交通省、総務省、厚生労働省、内閣府委員（2016年度）。明治大学公共政策大学院、東京理科大学の非常勤講師を兼任。

著書に『テレワークで働き方が変わる-テレワーク白書2016』（共著、インプレスR&D、2016年）、『テレワークが未来を創る-働き方改革で実現するトランスポーター社会』（共著、インプレスR&D、2015年）、『ICT進展と情報活用能力-変容する組織と個人の関係性』（白桃書房、2012年、第28回テレコム社会科学賞奨励賞受賞）、『知識資産経営と組織パフォーマンス-人材・知識・ICTの融合の時代』（共編著、白桃書房、2009年、日本社会情報学会優秀文献賞受賞）他多数。

講演の概要：

民間企業のみならず中央官庁・自治体なども加わり、多くの組織で「働き方改革」の取組が本格化している。その動きを牽引しているのがテレワーク。テレワークは、少子高齢社会への処方箋、介護離職ゼロへの対応、女性活躍推進策をはじめとして、官民挙げた日本全体の社会変革、イノベーションの推進策として位置づけられ、現在は、実践・普及拡大の段階に入っている。

本講演ではテレワーク関連の政策動向を紹介した後、企業・自治体の事例を交えながら、テレワーク導入・拡大にむけて必要な条件整備、テレワークの成功のポイント等を、議論する。

プログラム 15:00～16:00 講演

* 来聴歓迎 *

16:00～16:30 質疑応答

* 参加費無料 *

= お申込み・お問合せ =

同志社大学 技術・企業・国際競争力研究センター（ITEC）

TEL : 075-251-3779 FAX : 075-251-3139

e-mail : itec@doshisha-u.jpURL : <http://www.itec.doshisha-u.jp/>